

News Release

2021年10月28日
株式会社日本政策投資銀行

「MSD 第二号投資事業有限責任組合」の設立について —国内企業のさらなる成長をサポート—

株式会社日本政策投資銀行（以下「DBJ」という。）は、三井物産株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：堀健一）及び株式会社三井住友銀行（本社：東京都千代田区、頭取 CEO：高島誠）（3社併せて以下「スポンサー3社」という。）とともに、本日、投資事業会社である MSD 企業投資株式会社（以下「MSD 企業投資」という。）が運営するファンド「MSD 第二号投資事業有限責任組合」（以下「MSD2 号ファンド」という。）をスポンサー3社の出資により組成し、運営を開始しました。

MSD 企業投資は、「日本企業のための日本企業による投資事業を」をスローガンに掲げ、2015年10月に MSD 第一号投資事業有限責任組合（以下「MSD1 号ファンド」という。）を組成し、昨今の後継者不在による事業承継問題や、国内・海外市場の競争激化等、国内企業が直面する厳しい経済環境や多様な経営課題を抱える企業に対し、スポンサー3社が有する幅広いネットワーク、ノウハウ、人材等を活用し、投資先企業の自立・永続の実現に向け成長を支援しております。

MSD2 号ファンドは MSD1 号ファンドでの取り組みを継続し、長期的な視野に立ったパートナーとして企業の経営課題に共に取り組み、それに必要なリスクマネーを供給し、より一層の成長をサポートすべくスポンサー3社にて設立するエクイティファンドです。今後は、スポンサー3社に加えて、金融機関を含む新規投資家にも幅広く出資を仰ぎ、ファンド規模を拡大する予定です。

DBJ は、本件が、投資先企業が事業承継等を契機として、スポンサー3社のネットワーク等を活用した経営革新を実現することで、オープンイノベーションの推進を通じた本邦企業の競争力強化や地域経済の活性化に寄与するものとして、DBJ の「特定投資業務（注1）」の一環である「DBJ イノベーション・ライフサイエンスファンド（注2）」を活用し投資を実施する予定です。

DBJ は、MSD2 号ファンドの取り組みを通じ、国内企業の成長を支援し、わが国経済の活性化に貢献してまいります。

News Release

<MSD 企業投資の概要>

商号	MSD 企業投資株式会社
所在地	東京都千代田区大手町 1 丁目 9 番 2 号 大手町フィナンシャルシティ グランキューブ 19 階
資本金	4,950 万円
株主構成	三井物産企業投資株式会社 株式会社三井住友銀行 株式会社日本政策投資銀行
設立日	2015 年 9 月 1 日
代表者	安田 浩 (代表取締役社長)
問い合わせ先	代表電話番号：03-3285-3622
事業内容	投資事業組合の管理・運営
基本理念	日本企業による日本企業のための投資事業会社として、企業の課題解決と成長実現を支援し、株主・取引先・従業員といったすべてのステークホルダーにとっての価値最大化を目指す。

<MSD2 号ファンドの概要>

ファンド名称	MSD 第二号投資事業有限責任組合
無限責任組合員	MSD 企業投資株式会社
有限責任組合員	三井物産株式会社 株式会社三井住友銀行 株式会社日本政策投資銀行
ファンド組成日	2021 年 10 月 27 日
ファンド期間	10 年間

(注 1) 民間による成長資金の供給の促進並びに地域経済の活性化及び我が国企業の競争力の強化を図るため、国からの一部出資（産投出資）を活用して、成長資金を時限的・集中的に供給する業務です。

(注 2) 「特定投資業務」について、Society5.0 の世界に先駆けた実現やイノベーションエコシステムの構築、ライフサイエンス産業の競争力強化に向けた取り組みを推進するため設置した資金枠です。

【お問い合わせ先】

企業投資第 3 部 電話番号 03-3244-1351